

～いけがみ歯科は、頑張るあなたを応援しています～

歯っぴ～通信

平成 23 年 4 月号 Vol.39



災害と歯科

16年前の阪神淡路大震災のとき、実際にあったお話しです。阪神淡路大震災は早朝に起こったために、いわゆる入れ歯をしないまま避難したご高齢の方が多かったそうです。入れ歯がないと食事ができないという方たちは、支給される食事を食べることができずに大変苦勞されたそうです。その方々が、倒壊した瓦礫の中から一番に探し出そうとしたのも「入れ歯」だったそうです。その人の立場になるとそうなんだろうなあとわかりますが、こういったことは耳にしないとわからないですよ。そう考えると、自分の歯を大事にして、自分の歯で食事を続けられるようにしたいものです。今回の震災を通じて、私が、歯科医として、お手伝いできるところはやはりそこなんだなあと改めて思った次第です。

頑

張れ、ニッポン！

この度の東北関東大震災に、被災された方に心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興を願っています。いけがみ歯科クリニック院長の池上誠です。16年前の阪神淡路大震災は僕が大阪の大学へ行ってたときなので、身近で経験しています。そのこともあって今回の歯っぴ～通信は何を書いたらいいか、どう伝えたらいいかわからないくらい混乱しています。今回の地震直後は、報道を見ているだけでも復興に向けての希望の光がみえない話ばかりで、仕事をしていてもなんか元気が出ませんでした。ほんとにやっと最近になって、明るい希望のもてる話が少しずつ出てきて、元気をとりもどしつつあります。テレビでだれかが言っていました。『知恵がある奴は知恵を出そう。力がある奴は力をだそう。金がある奴は金を出そう。自分は何もないよっていう奴は元気を出せ！』と。なので私も元気いっぱいいこうと思っています。渡辺謙さんが「kizuna311」という震災被災者への応援サイトを立ちあげていますが、その中でTunami（津波）という日本語が世界共通語になっていいますが、Kizuna（絆）という日本語こそ世界共通語にしていきたいという思いには、とても賛同させられました。いま、この国にある最高の財産は『絆』なんです。がんばれニッポン！

院長 池上 誠

未来あるこどもたちの心を守るために

今回の震災の報道は、大人もですが、子供たちにも大きな影響を与えているようです。津波で家が流されるようすがテレビで何度も映し出され、それを度々目にする事で、心理的に傷を負うケースがあるようです。夜、奇声を発したり、おしっこにいけなくなったり、急に怒ったり泣いたりするという症状が現れるそうです。そういった際には、しっかり抱っこしたり、おんぶしたりしてスキンシップを高めたる事が有効だそうです。添い寝したり、大事にしている宝物を枕元に置いたりするのもいいそうです。お子さんがいる方は、気を配ってくださいね。

患者様の声～あなたの声を聞かせてください～

毎月、このスペースでは、治療後に寄せられた患者さまの声を掲載しています。

画面を使ってわかりやすく説明して下さったので安心して治療を受けることができました。なかなか歯科クリニックへ行く機会がなかったので、パソコンを使っての説明はすごいと思いました。

(岡山市：匿名希望さん)

〒700-0827
岡山市平和町6-27
WAKAビル2F
発行：池上誠



歯科・口腔外科・小児歯科・
レーザー治療・予防歯科・
インプラント・ホワイトニング
西川沿い・岡山駅から0分
いけがみ歯科クリニック
(086)23 7731